

# 建設 防災 ボランティアニュース 第 32 号

## 平成 21 年度定期総会の開催

平成 21 年度の定期総会が、6 月 17 日、新宿モリスビルで開催されました。多くの会員が参加され、活発な討論を経て、本年度も提案、承認された事業を進めることになりました。 広報担当

### 定期総会の報告

平成 21 年度の総会が、去る 6 月 17 日(水)15 時 30 分から東京都道路整備保全公社大会議室で、協会員 87 名(登録 135 名)の参加を得て開催されました。沼尻会長の挨拶に続き、来賓の建設局の三浦参事、道路整備保全公社の宮村常務理事、公園協会の鈴木常務理事から挨拶を頂きました。



会長挨拶

その後、柳川修会員を議長に選任して議事を進行、始めに平成 20 年度事業報告(本間、新井理事)・決算報告(丸岡理事)・会計監査報告(雑賀監事)が行われ、原案どおり承認されました。

引き続き平成 21 年度事業計画(案)(小山理事)・予算(案)(丸岡理事)そして規約改正(案)(吉田理事)が提案され、原案どおり承認されました。また、役員の変更を行い沼尻会長が再任されるとともに、総勢 16 名の新役員が選出されました。退任された田中稔理事、雑賀徹会計監事、新任の藤田進理事からそれぞれ挨拶があり、議事を終

了しました。

続いて、会長から各事務所の 21 年度リーダーへ委嘱状の手渡し、20 年度協会活動功労者 17 名・リーダーを交代した会員 5 名への感謝状と記念品の贈呈、並びに永年会員 2 名・退任役員 2 名への感謝状と記念品の贈呈が行われました。

最後に司会から昨年の総会以後に入会した会員 8 名を紹介して定期総会を終了しました。

総会終了後、第二庁舎 4 階食堂で、沼尻会長以下 48 名の会員、三浦参事、宮村常務理事、公社管理職などにも参加をいただき懇親会を行い、和やかなひと時を過ごし懇親を深めました。

北々建班 藤井 賢介

## 理事・リーダー合同会議の開催

協会理事と各事務所リーダーの合同会議が 6 月 30 日に道路整備保全公社大会議室で開催しました。



リーダー会議の状況

会議は、会長挨拶、出席者自己紹介の後、21 年度事業予定並びに担当理事について総合防災訓練について勝鬃橋ミニツアー支援事業について河川愛護月間行事支援について各活動に伴う報告書の提出についてボランティアニュースの原稿作成について

各担当理事から説明及び質疑応答を行い1時間  
余りで終了しました。 広報担当

## 第四回勝鬨橋ミニツアー研修会の開催

勝鬨橋ミニツアー活動支援者のご協力のもと、平成17年5月12日の活動開始以来、平成21年3月末までのほぼ4年間で、活動回数175回を数え、2,975名の方々を案内いたしました。

例年、案内に参考となる資料等を基に研修会を開催していますが今年は、5月14日に、実施いたしました。

研修会は、沼尻会長挨拶の後、案内実施状況、見学者からの主な意見等が道路整備保全公社の長谷川係長から報告がありました。

次に、道路管理部保全課吉沢橋梁維持係長から「橋梁の管理に関する中長期計画」の説明を受けました。吉沢係長には、お忙しい中、研修会への参加をお願いしましたところ、快く引受けて頂き紙上を借りて感謝申し上げます。

さらに、橋の資料館館長が架橋工事の貴重な写真を収集のうえ、編纂された「跳開橋勝鬨橋の記録」が勝どき担当理事から紹介されました。昨年の「絵図にみる隅田川河口部の歴史」に引き続きの館長の労作のご提供には心より感謝申し上げます。

研修会の終了後、佐野第一建設事務所長、飯野道路整備保全公社総務部長、加藤道路管理部保全課長をはじめ関係職員をまじえて52名参加の懇親会を行いました。

なお、席上、案内環境の改善のために、資料館の増築工事が今年度予定されている旨、報告がありましたが、一日でも早い完成が期待されます。

すでに活動5年目に入っていますが、これまで同様、確実な活動をお願いいたしまして報告とさせていただきます。

担当理事 新井敏男、堀中 逸

## 研修会の報告

勝鬨橋橋脚内の見学ミニツアー活動参加者の研修会が、5月14日15時30分から築地市場厚生会館で行われ、37名が参加しました。

堀中担当理事の司会で、以下の3項目にわたり、説明・質疑等が行われました。



## 研修の状況

ミニツアー活動実績（新井理事が報告）

平成17年5月の開始以来、20年度までで、175回の活動で3,000名近くを案内しています。18年度に少し落ち込んだものの、19・20年度と順調に案内者が増えています。

現在、活動参加者は約60名で12班の体制を組み、活動も14巡目となっています。

「戦略的橋梁の管理に関する中長期計画」  
（道路管理部吉沢橋梁保全係長から説明）

建設局では、20年4月現在1,247の橋梁を管理していますが、1964年の東京オリンピック前後に建設されたものが多く、高齢化が進み、今後の更新が大きな課題となっています。

そこで、対症療法的管理から予防保全型管理へ転換させることにより、30年間で1.1兆円のコスト縮減・1年でCO<sub>2</sub>を3.7万トン削減などの環境負荷の軽減等の効果をもたらすための中長期計画を策定しました。

今年4月10日にプレス発表しており、詳しくは、局のHPで閲覧できます。

「跳開橋勝鬨橋の記録」（新井理事が説明）  
これは「かちどき 橋の資料館」の木住野館長の労作です。

副題にある“勝鬨橋架橋工事の全記録と開かずの橋にいたる40年の記録”のとおり、工事中の貴重な写真や昭和45年11月の最後の開橋の様子、構造図等、100枚余りの写真と図版で勝鬨橋の歴史がいきいきと語られています。

木住野館長がこれだけの資料をこつこつと集め、整理されたことに深く感謝するとともに、今後のミニツアー活動で大いに活用されることを望みます。今秋、道路管理部で印刷発行の予定とのことです。

“はじめに”にあるように、この冊子により、



『勝鬨橋架橋への関係者の意気込みや、困難な状況に苦闘する有様が生々しく伝わり』、『本書が、ただ思い出の対象としてではなく、勝鬨橋への一層の理解に寄与するとともに、これからのまちづくりのあり方を考えるよすがになる』ことを期待するものです。

なお、最後の跳開が全開 70 度の半分程度で終わったというのも写真で示されており、一抹の寂しさを感じました。

引続き、堀中理事の司会進行で懇親会がもたれました。道路管理部加藤保全課長にも駆けつけていただき、また、道路整備保全公社の飯野総務部長以下幹部の方々も大勢おみえになって、なごやかに懇談し、最後は、賑やかに公社の長谷川係長の締めでお開きとなりました。

南西建班 林 健一郎

## 河川愛護月間関連行事

本年度の行事は、川を歩こう-(7/4、7/7) 隅田川・石神井川・多摩川・南浅川・旧中川の 5 河川に 23 名、環七地下の巨大トンネル体験(7/25)に 9 名、平井川クリーンアップ作戦(7/24)に 2 名、野川ちびっ子先生集まれ(6/29)に 4 名、わくわく川清掃&川あそび黒目・落合川(7/19)に 5 名、東京の川を考えるシンポジウム(7/29)に 15 名。

第二庁舎 1F・新宿駅西口広場・第一庁舎展望室で行われた川のパネル展に延 30 名と計 87 名の会員が参加いたしました。 広報担当

### 川を歩こう「多摩川コース」報告

多摩川コースに参加した7月7日は、梅雨期に珍しい大変よい天気恵まれ、青梅線の鳩ノ巣駅前、9時40分集合した。

参加者は、スタッフ 20 名(河川部、西建、防災ボランティア伊藤、谷貝、岸の 3 名、奥多摩観光協会の名人・達人観光ガイドの会)と当行事に応募された 21 名の都民の合計 41 名であった。西建の主催で、3 班に分かれて 10 時に出発。

「川を歩こう」では、多摩川沿いの鳩ノ巣溪谷遊歩道を上流に向かい、コース途中にある白丸ダムを目指した。

約 40m の断崖の下、多摩川が巨岩・奇岩の間を流れる鳩ノ巣溪谷は、奥多摩随一の溪谷美を誇り、また、鳩ノ巣付近は、キャンプ、川遊びなど

川に親しむ親水エリアでもあり、溪谷美と共に清流の魅力も満喫できた。



参加した会員

ガイドの橋上一彦さんは知識が豊富な方で、たとえば、棚沢や鳩ノ巣の地名の由来、草花の名前、真竹と孟宗竹の相違、葉を揉んだ時の匂いは？なぜ石にコケが生えて土には生えないの？木に生えたキノコと木の関係 等、丁寧に説明され、都民との会話も楽しみながら散策ガイドができた。

「施設見学」では、高さ 30m の白丸ダムの横に、国土交通省が平成 14 年 3 月に完成させた魚道(高低差 7m、長さ 330m、幅 2m、勾配 1/10)があり、施設管理している西建の担当者が設置目的や構造について、都民と一緒に歩きながら説明してくれた。

わが班は、都民 7 名のうち女性が 6 名で、コースの途中に高低差 20m の石階段や魚道に降りる 140 段の螺旋状階段など危険で大変な箇所もあったが、落伍者も出ずけが人もなく無事終了して大変よかった。

白丸駅付近で解散したのは予定の 12 時を 40 分程過ぎていたが、都民の方々の「また仲間を誘って参加したい、楽しかった」と言ってくれた言葉は、疲れた老体に多摩川の溪谷美と共に、爽やかな印象として今も残っている。

西建班 伊藤 浩之

## 道路施設点検

毎年、建設局からの要請に基づき実施している「前期道路施設点検」が、6 月から各事務所で始まり、現在、各事務所の実施報告を受けている最中です。全体の結果は次号でお知らせしますが、既終了した事務所についての報告がありましたのでお知らせします。 広報担当

## 一建班報告

「我々は怪しいものではありません。警備中の二人の警察官に断りを入れた。」7月8日水曜日に実施した一建の道路施設点検である。主要地方道319号線外苑東通りは、東宮御所ほか宮様の住まいがある赤坂御所に沿っていることから警戒が厳しい。

あさの9時30分に一建の職員二人、ボランティアの私と平田さんの二人が地下鉄青山一丁目駅に集合した。2班に分かれ、1班はJR信濃町駅近くまで、2班は青山霊園の端にある青山葬儀所付近までを往復した。

銀杏などの街路樹が立派に成長し、歩道の盛り上がりが目立つ。高齢者が急いでいたら転倒するだろうと危惧した。車道の舗装も相当古くなっている。ただ、車両にとつて危険であるとは思えない。距離が短いので、点検は1時間足らずで終了した。しかし、湿気の多い、蒸し暑い日だったので汗びっしょりになった。今回は目視による点検だったが、次回は車椅子も使ってもう少し大人数で行いたいものだった

一建班 綿貫 朝治

## 事務所との連絡会の実施

各事務所リーダーの積極的な働きかけにより、当協会と各事務所職員との密接な連携が図られています。今回、二建班が事務所との間で事業説明会を行いましたので、その概要をお知らせします。 広報担当

## 二建班報告

去る7月13日(月)、第二建設事務所主催の「平成21年度防災ボランティア事業説明会」が、二建大井工事事務所会議室で開催された。参加会員は、石川(顧問)・野村(S)・柳川(SL)・市村・草野・小林(寛)・渋谷・田中(稔)・本郷・山口(敬称略)の10名、二建からは、西倉所長を始め東副所長・根津管理課長・網野用地課長・石坂工事課長・古澤補修課長・藤木品川線建設担当課長・深海補佐が出席された。

当日は、会議に先立ち、現在、事業の最盛期を迎えている首都高中央環状品川線の大井立坑を、藤木品川線建設担当課長・長尾補佐の案内で視察した。最新工法を駆使した最前線の現場を目の当たりに見ることができ、会員一同感謝感激。

会議は、深海補佐の司会進行で行われた。最初に西倉所長が挨拶され、建設防災ボランティアの日頃の協力に対し感謝の言葉が述べられた。これに対し、当協会からは、野村Lと石川顧問が今後ともお役に立てるよう努力する旨挨拶した。

このあと議事に移り、二建及び当協会のそれぞれから21年度事業の説明があり、その後、二建から8月30日(日)に行われる予定の「総合防災訓練の概要とボランティアへの協力要請について」説明があった。質疑では、総合防災訓練への協力の仕方等に集中した。特に、会議途中で、8月30日に総選挙が行われるというニュースが飛び込んできて、その場合の対応等についても意見交換がおこなわれた。

会議終了後は、別会場にて懇親会が行われ、会議の席上では、語れなかった様々のことについて意見交換を行うことができ、和気藹々のなか全ての日程を終了した。

当日は、中身の濃い会議・懇親会に加え、今日都政で最も注目されている中央環状品川線の工事現場を視察でき、会員にとって、大変有意義な一日となった。

末尾ながら、西倉所長を始め、二建の皆さんに厚く御礼申し上げます。 二建班 柳川 修

## 協会からのお知らせ

### 1. 平成21年度防災訓練

本年度は東京都・世田谷区・調布市合同総合防災訓練が、区立世田谷公園(第二建設事務所管内)、調布基地跡地(北多摩南部建設事務所管内)をメイン会場にして実施されます。

### 2. お詫びと訂正

下記の方を前号で退会として紹介しましたが、本年度も引き続き会員として活動いただくことになりました。て関係会員の方々にお詫び申し上げますと共に、引き続きよろしくお願ひいたします。

荒木 清、池野 鎮雄、来原 昌、笹村 正行、佐藤 俊、山口 岩男(敬称略)

発行人: 沼尻 孰

発行: 東京都建設防災ボランティア協会

所在地: 東京都新宿区西新宿2-3-1

財団法人 東京都道路整備保全公社内

編集: 加藤 基雄、中田 勝司、丸岡 敏夫